



☎ 591-7376
akito.n@m3.
dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2004年 1月発行 第26号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円

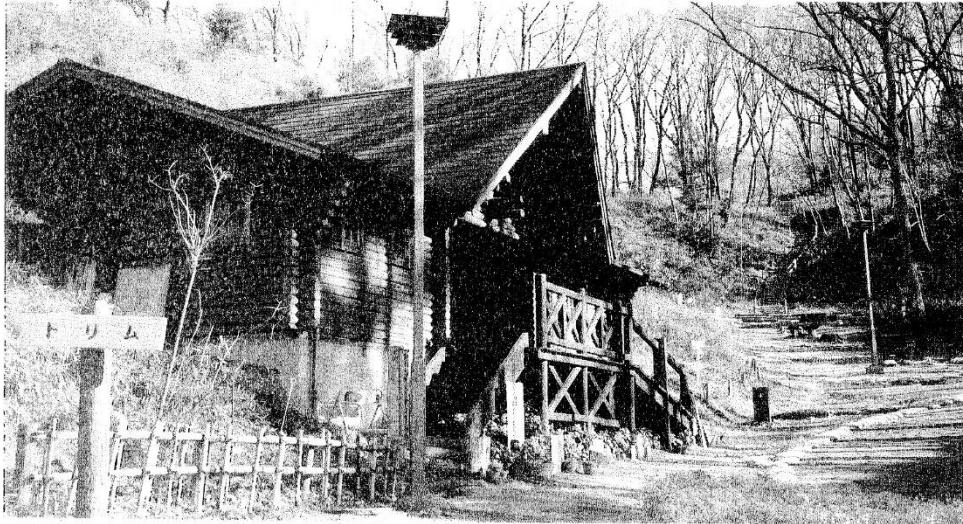
お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡 南平駅
中野あきと事務所

ヤマダデンキ

北野街道



2004年

新春

中野あきと事務所



南平丘陵公園

住民の皆さんと力を合わせて

中野あきと

二〇〇二年の市議選から早いもので、間もなく二年の折り返し点が過ぎようとしています。この二年間、私は「まちづくり建設」委員会に所属してきました。

いま市内ではあちらこちらで住環境や自然を無視した開発の動きが起これ、これに対し住民の皆さんが力を合わせて立ち向かっています。

そうした問題に委員として関わるなかで、痛感したことがあります。市は「まちづくりの主役は住民」と強調していますが、いざ問題が起きた時に「本当に主役である住民の立場に立てるのか」市の真価が問われているという事です。

高層マンション建設問題などが、これほどまでに市内各所で起きるのは何故か。市政との関わりで考えざるを得ません。

同時に市政もゆるがす住民の共同、パワーも実感しました。

今年一年、住民の皆さんのたたかいに学びながら更にがんばります。

一年の活動をまとめました 《裏面に続く》

平山小、平山台小 統廃合問題

保護者、住民の声で
実施延期、話し合い継続に

子育て 支援

くり返しの提案で
乳幼児医療費助成の拡充

平山地域で大きな問題となっている、平山小と平山台小の統廃合問題について私は、昨年の六月、十二月の議会で連続してとり上げました。

このなかで私は、保護者や住民の意向、総意を尊重すべきだと強調してきました。市長も「こんな嫌だ、という声が出ないような方向づけをしなければならぬ」と述べ、「二指摘の地域社会の声も踏まえて慎重な対応が必要」と答弁。実施を延期し、話し合いが継続されるという状況になりました。

平山小の改築問題では、子どもの命や安全にかかわる問題まで使って、統廃合を誘導するようなことはやってはならないこと、危険な校舎の改築は待ったなしの状況であることを、調査結果や数値で明らかにしてきました。

私はこの間、子育て世代の切実な要望となっている乳幼児医療費の負担軽減を求めて、議会でもくり返し提案してきました（〇一年一月、〇二年三月、〇三年三月）。

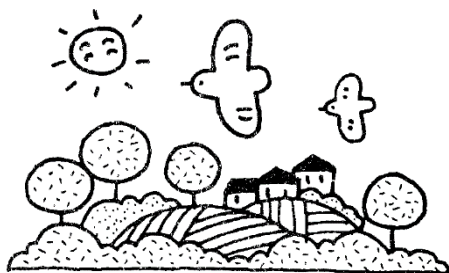
当初は、なかなか前向きな答弁が得られませんでした。子育て世代のさまざまな実態を示すなかで市長から、身近ないろいろな状況を見ても私もよく分かるとして「今の議員の指摘も踏まえて努力したい」という答弁を得ました（〇三年三月）。

これを受けて党市議団は六月議会で再度提案、九月議会で四才未満までの所得制限を撤廃することと決まりました。

保育園の待機児問題や、公立保育園の食材費の深刻な実態をとり上げ、食材費については若干の改善が図られましたが、解決へ向けて今後も抜本的な対策をとるよう、強く求めました。

地域の声を取り上げて

- ・ 平山6丁目入口の交差点改善問題
- ・ 換地、移転補償など区画整理問題
- ・ 西平山1丁目の雨水対策
- ・ 特別養護老人ホームの増設など、介護保険に関する改善などに取り組んできました。



まちづくり

『住民主役』のまちづくりを

高幡不動駅の駅舎改築、旭が丘富士電機用地売却による巨大マンションの建設、東電による変電所の建設、高幡北地域の道路問題、三沢3丁目の緑地開発など……。昨年もまちづくりをめぐる、住民の皆さんのたたかいが市内各所で起こりました。

いま、都市計画などの改正が毎年のように行なわれるなかで、市町村における自治権が拡大されています。その流れをふまえて住民のたたかいと力を合わせて自治体の権限を行使すれば、生活環境や自然を守るみちは開けます。

多摩地域の幾つかの自治体で始まっている、建物の高さを規制するなどの取り組みは、そのよい例です。私はこれまでも議会のなかでこうしたことを主張しながら、「本当に『住民主役のまちづくり』をすすめる意志はあるのか」「市の真価が問われる」と、市の姿勢をただしてきました。

いずれの問題も今年が正念場です。引き続きがんばります。



妻 「新年おめでとう」っていいんだけど、今年は自衛隊のイラク派兵問題もあって何か不安ね。小泉首相は「日米同盟が大事」というけど、日本はそんなにまでアメリカの後押しをしなければならぬのかしら。二十一世紀になって世界は変わってきているのね。

夫 そうだね。たしかに米ソ対決の時代には、ソ連に対抗するためアメリカには従わざるを得ないという状況が西ヨーロッパ諸国にもあった。しかしソ連崩壊後、事態はすっかり変わってきている。

妻 『赤旗日曜版』の新春対談で不破さんが、「アジア、中東、アフリカなど『大国』だけでなく、文字通り地球人口の多数者が世界に向かって発言し、行動する世界になっている」と指摘していたけど、その基調になっているのが「平和と繁栄を共同の努力でつくりあげよう」ということなんだ。

妻 去年の十月、ASEAN（アジア諸国連合）の十か国の首脳が参加した集まりが、バリ島であつたわね。

夫婦の世問答

世界で広がる共同の努力

平和と繁栄をつくりあげる動き



夫 そこでは二〇二〇年までに「政治、経済、社会文化の三分野でASEAN共同体をつくる」という宣言が採択された。安全保障ではTAC（東南アジア友好協力条約）などを中心に据えるとしている。

妻 そのTACに去年、中国とインドが加盟したのね。

夫 アメリカが張りめぐらしたアジアの軍事同盟網は崩壊し各国は非同盟の道に進んでいる。日本はアメリカに気がねして拒否していたが、十二月ようやく加盟した。

妻 去年はもう一つ、中国やインドが対話外交を展開し、チベットなどの領有問題と、カシミール問題の戦闘停止の合意があつた。日本は憲法九条を前面にした外交を推進する条件が、ますます広がっているように思えるけど。

夫 日本はアジアの本流となっている平和・繁栄の動きと共にするのか、相変わらず対米追随を続けていくのか岐路にたつている。アメリカの言いなりになって軍事力行使の孤立のみちを行くことをやめさせなければ。今年はその重大な年になると思うよ。

短信

元旦の昼の浅川堤防の上は初詣の人でけっこうな賑わいでした。高幡のお不動さんに向かう人、帰って来る人、破魔矢や厄除けのうちわを持って語らいながら歩く家族づれや若い夫婦の姿は、平和そのものです。浅川堤防の上は、富士を見る絶好のポイントでもあります。場所は新井橋から高幡橋までの左岸と一番橋までの兩岸です。都内から見る富士の多くは、前面に丹沢の山脈を従えた上半分の姿ですが、ここから見る富士は丹沢からはずれ、めずらしくそ野が左右とも下のほうまでよく見えます。同じ市内でも僅かな位置のずれで、市役所の屋上からは左のすがすがしい丹沢の北はずれの大室山に途中で隠されてしまします。富士といえは太平洋戦争の末期、アメリカのB29が富士山を目標に進路をとり空襲にやってきました。たことをふと思ひ出します。イラクに向かう迷彩服の航空自衛隊の写真を見たせいでしょうか。堤防の上の平和な光景は、憲法が守られてこそです。岐路にある日本、今年は重大な年です。